



2月11日、東京都生活文化局の補助事業である「企業ボランティア・プロジェクト」として、イタル城において「アート・ワークショップ」を開催。東京ボランティア・市民活動センターおよびNECグループの社員様やそのご家族の皆様をお迎えしました



I・はつめじ
 いたるセンターは、法人名称の由来となったジャン・イタル医師の「進取の精神」に立ち返り、それに基づく「いたるイズム」の確立を目指します。感覚訓練法の基礎を成し、のちのサガンやモンテッソーリといった後進の道を拓いたジャン・イタル医師。その「進取の精神」こそ、社会福祉法人いたるセンターの礎であります。理事長就任以来、四半世紀をかけ、自ら行動でその「進取の精神」を示してきました。

II・令和2年度の目標
 「進取の精神」いたるイズムを確立し、持続・継続可能な地域共生社会の実現に寄与します。
III・事業方針
 (1) それぞれの意義や目的、特性に即した福祉サービスの追求
 就労、介護、看護、保育など、それぞれの福祉サービスの原点に立ち返り、支援マニュアルの再編を進め、支援ニーズに対するきめ細やかな対応の実現に努めます。
 (2) 支援の質の向上に注力できる体制と環境の再整備
 働き方改革や同一労働同一賃金を見据え、賃金体系を見直すとともに、時間外労働の軽減やメンタルヘルスケアを意識した環境整備を行います。

(3) 専門性と管理能力を発揮できる横断的なコミュニケーションの確立
 同一階層・同一職種などの会議やプロジェクトを新設し、事業部や施設の枠を超えた横断的なコミュニケーションを活性化します。
 (4) SDGsに基づき、「一人も取り残さない」地域包括ケアの推進
 ・世田谷地区に訪問看護ステーション(サテライト型)を新設
 ・共生型グループホームの新設
 ・障害者グループホームの「のれん分け」制度の活用
 (5) 「ゆりかごから墓場まで」の切れ目のない総合福祉サービスの実現
 ・児童保育の新規立ち上げ
 ・放課後等デイサービスの新規立ち上げ
 ・高齢者デイサービス(リハビリ)の新規立ち上げ
 ・高齢者グループホームの新規立ち上げ
 ここに掲げましたように、ジャン・イタル医師の「進取の精神」をもって支援の質の向上を追求しつつ、さまざまな環境整備を推進してまいります。
 変わらぬご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

日頃は、社会福祉法人いたるセンターに多大なるご支援ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。さてこの度、令和2年度の「社会福祉法人いたるセンター・事業方針案」を策定しましたので、ご報告申し上げます。

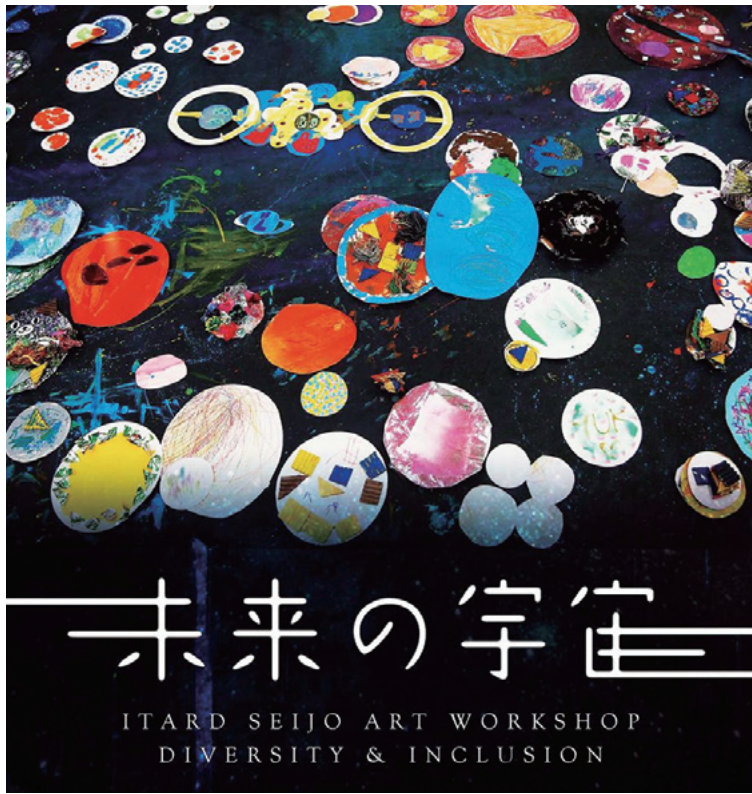
令和2年度事業方針

令和2年度いたるセンター事業方針案について
 社会福祉法人いたるセンター 理事長 谷山 哲浩

目次 contents

- 01 令和2年度 事業方針案 谷山哲浩理事長
- 02 NECグループの社員とご家族の皆様とともに、「未来の宇宙」を創造。イタル城で「アート・ワークショップ」開催。
- 03 【活躍するご利用者様たちと、それを支援する職員①】あけぼの作業所
 【活躍するご利用者様たちと、それを支援する職員②】目黒本町福祉工房
- 04 2019年度第4回全体職員研修 阿佐谷福祉工房、職員の支援スキルの標準化を目指し、「職員育成マニュアル」作成に着手！
 新型コロナウイルス感染症、いたる訪問看護ステーションが注意喚起チラシを作成！

いたる賛助会入会のご案内
 「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。
 「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。
 年会費 1口5千円(何口でも可)
 郵便振り込み 001107128992
 (問) 336027346 事務局山本まで



2月11日、東京都生活文化局の補助事業である『企業ボランティア・プロジェクト』として、イタル成城において「アート・ワークショップ」を開催しました。東京ボランティア・市民活動センターおよびNECグループの社員様やそのご家族の皆様

と、イタル成城の仲間たち総勢100人が参加。『未来の宇宙』をテーマに、みんなでひとつの作品を作ることができました。ダイバーシティ&インクルージョンな、楽しくて学びのある時間を共有することができ、言葉をお互いに交わさなくてもみんな気持ちよく過ごせたと思います。

NECグループの社員と
 そのご家族の皆様とともに、「未来の宇宙」を創造。
 イタル成城で「アート・ワークショップ」開催。

ちを伝えあい、たくさん笑顔とアイデアが生まれる空間になったと思います。参加された皆様、ご協力いただいたプロボノ関係者の皆様、楽しい時間をありがとうございました。アートを通じたコミュニケーションの楽しさを、全員で共有できたのではないかと思います。



予告
PLAIN ART 2020
 今回共同制作した「未来の宇宙」を展示予定。全員参加型の展示会にご期待ください。
 会期 | 2020年5月4日～10日
 10時～18時 (5月7日は休館日)
 会場 | 世田谷美術館・1階区民ギャラリー
 東京都世田谷区砧公園1-2

今回の『企業ボランティア・プロジェクト』のキーマンのお二方に嬉しいコメントをいただきました！

<p>日本電気株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 エンゲージメント推進室主任 松下直子様</p> <p>「東京ボランティア・市民活動センターとの連携で、アート企画に参加させていただくことになりました。NEC本社ビルでのパラアートの展示会に続いて、第二弾はNECらしい「宇宙」がテーマでイタル成城の皆さんと楽しく作品を作ることができました。第三弾の世田谷美術館での展示会にも社員ボランティアを募って参加させていただきます」</p>	<p>東京ボランティア 市民活動センター 主任 河村暁子様</p> <p>「障害のある人たちが企業に行ったり、社員さんたちと交流できたらよいのに。」というアイデアから、昨年末のNEC本社での出張アート展、今回の施設でのワークショップ、そして、GWには世田谷美術館での展示会という一連のプロジェクトが生まれました。たくさん笑顔が溢れ、人と人をつなぐアートの力を感じています」</p>
--	---

活躍するご利用者様たちと、それを支援する職員①

いたる通信は、私たちがお届けしています！ あけぼの作業所・就労継続支援B型

《ワーキンググループ》

あけぼの作業所
就労継続支援B型
グループリーダー 柴山 時也



杉並区内顧客満足度No.1事業所を目指すあけぼの作業所は、平成19年に杉並区の指定管理を受託した公設民営の障害者通所施設です。緑豊かな切通し公園に面した恵まれた環境のなか、地域に開かれた施設として、多くのボランティアやインターンを受け入れています。主に企業や大学からの受注事

業と清掃事業を行う、就労継続支援B型・ワーキンググループでは、いたるセンターの広報紙である「いたる通信」の封入から封かん、宛名貼り、発送業務を担っています。毎年、杉並区役所や区議会委員からも多くの作業を受けており、最近では、ホチキスリムーバー、杖ホルダーの組み立て作業も行っております。部品は細かく、トルクドライバーでねじ止めする工程もありますが、手先が器用なご利用者様が多く、手際よくこなしている姿はまさに「職人」です。



高い作業スキルと集中力で、仕事に取り組んでいます



作業所内の清掃も、重要な業務の一つです

ワーキンググループは、現在31名のご利用者様が在籍しています。ご利用者様は集中力や作業スキルが素晴らしいだけでなく、作業に対する意欲も高く、「残業しようか？」と声をかけてくれます。今年度は1時間程度の残業を何度かお願いしました。「お小遣いが増えて欲しかったものを買えた」「自分の工賃で家族に食事を馳走した」そんなご利用者様からの話を聞き、スタッフは刺激され、新規受注先の開拓、今ある受注先への単価交渉、近隣宅の除草作業の請負など、売上アップ、工賃アップのために積極的に取り組んでいます。ご利用者様とスタッフがお互いに刺激し合い、助け合い成り立っているワーキンググループ。今後とも、ご利用者様とスタッフが一丸となって盛り上げて行きます！

活躍するご利用者様たちと、それを支援する職員②

季節に応じたスイーツを開発・提供！ 目黒本町福祉工房・就労継続支援B型

《中央町分室製菓グループ》

目黒本町福祉工房
就労継続支援B型
統括リーダー 浅野 鋭一

目黒区の区立障害者福祉施設として、平成24年から指定管理を受けている目黒本町福祉工房。就労継続支援B型の分室として平成27年より目黒区中央町のスマイルプラザ中央町で菓子の製造を行うグループです。現在はお菓子作りにやりがい求めた8名のご利用者様が、職員とともにさまざまなスイーツを開発・製造しています。スイーツの街、目黒から。

作業し、スキルアップできる実感や販売の達成感を得て成長していきます。そのような姿を見ていると幸せな気分になさせてくれるお菓子の魅力を発見することが出来ます。私たちは、日々の作業を通じて、意欲的に新しいお菓子に出会い、また、創り続けることで喜びや働きがいを感じ、工賃向上を目指していきます。

これまで5年間で商品化された自主生産品として、チョコレート菓子17種、焼菓子21種、コンフィチュール5種、ケーキ9種、ギフト用菓子4種があります。これらは彩りと味わい、食感と風味を大切にし、丁寧につくられたものです。また、季節に応じた食材を使用し毎月変わった販売商品を企画し提供しています。職員の指導からメンバーの皆さんが毎日楽しく



昨年の「ほんちようまつり」でも、多くの商品が人気を博していました



ピックアップいたる

2019年度第4回全体職員研修が、 2月15日、あけぼの作業所で開催されました!



総勢150名の職員が集い、合計8時間の講義を受講しました

2020年2月15日(土)、あけぼの作業所にて2019年度第4回職員研修が開催されました。今回は分科会によるプログラムで、①「理事長訓示「事例研究・社会貢献活動の実践」、②「虐待防止セルフチェックリスト作成」、③「いたるセンターにおけるキャリアパス制度」、④「福祉人財人間力向上研修」が行われました。

「事例研究・社会貢献活動の実践」では、授業料無料の職業インターン「101カレッジ」を紹介。福祉と教育のたすき掛けで、社会的課題となっている「ひきこもり・不登校」、「過疎化・後継者不足」、「労働力不足・雇用問題」などを解決するため、無償で対象者に職業訓練を施し、移住人口増加や地域活性化などを推進していることを説明し、社会貢献の実践例について学びました。

午後の研修は、社労士法人ヒューマンスキルコンサルティングの代表である林正人氏が講師を務め、「福祉人財人間力向上研修」を行いました。第1回研修では、「人生の中で最も多く時間を費やすのは、仕事に従事する時間」であるならば、「仕事への取り組み方で大きく人生が変わる」ことを説明。また、「天職は与えられるものでも、探し当てるものでもなく、自ら決めるもの」とし、「自らが最も努力を積み重ねた仕事こそが天職」となることを示していただきました。第2回研修では、人間力とは「人間性+形(表情・態度・所作・言葉・行動)」で表されるもので、「正しく、分かりやすく、具体的な【形】に表現して伝える」ことの重要性を説明。人間力の高い人については、①当たり前前に行うことができる人、②自分がしてもらってうれしいことを相手にもできる人、とし、まず「あいさつから身に付ける」ことがその近道であると教わりました。

今回の職員研修では、インフルエンザやコロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、マスクの着用や手洗いの励行、手指の消毒、使用した机の消毒などを徹底していただいたおかげで、無事に行うことができました。

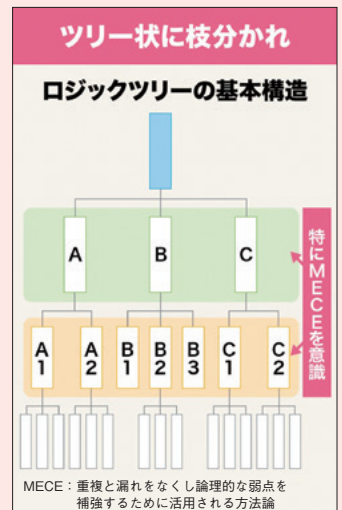
阿佐谷福祉工房、職員の支援スキルの標準化を目指し、 ロジックツリーによる「職員育成マニュアル」作成に着手!

2019年度はご利用者様への支援の充実のため、職員が丸となって取り組む方針を掲げました。

職員個々の支援スキルを向上させるために、「現状よりも利用者支援の質を向上させるためにはどのようにすれば良いか」について、まずリーダー以上で会議を重ね検討しました。その結果、支援の質を向上させるためには職員スキルの標準化が必須であり、それを推進するためには「職員として最低限備えていなければならない能力を規定すること。そしてその内容について職員全員が納得し、共有していること」即ち「職員の能力標準の規定と共有」が必要という認識に至りました。下期にはその議論を踏まえ、職員の納得感が得られるようにそれぞれの職員が考えていること、感じていることに耳を傾けつつ、フリーディスカッションという形をとって職員ミーティングを重ねました。積極的な意見や協力があがり、2019年度は職員の能力基準の大枠を決めることが出来て、そのロジックツリーを作成するに至りました。

今後はロジックツリーに記された内容を「どのくらいの期間で、誰がどのように育成するのか」といった具体的な部分の議論になっていくと思います。その具体的な部分についてキチンと見える化をして、職員育成マニュアルを作成し、職員スキルの標準化を図りたいと考えています。

阿佐谷福祉工房 施設長 池田佳津男



いたる広報委員

発行責任者= 谷山 哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/2020年3月●●日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。



新型コロナウイルス感染症について、 いたる訪問看護ステーションが 注意喚起を行うチラシを作成!

いたる訪問看護ステーションでは、現在の状況に鑑み、コロナウイルスに関する分かりやすいチラシを作成し、ご利用者様やそのご家族様、職員、地域の皆様への配布をスタートしました。

ステークホルダーである「いたる通信」の読者様にもご周知できるよう、ここに再掲いたしますので、ぜひご活用ください。

(本紙に挟み込んでいます)

